

令和2年度 生命地域妙高環境会議事業報告について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、環境サポーターズスキルアップ講習会及びトレイルランニング等のイベントは中止しましたが、環境保護活動は対策を施した上で実施しました。

1. 生物多様性保全活動の推進

- いもり池のスイレンの駆除活動の実施
 - ・第1回 6月22日～24日 3日間 地元地区との協働
ボートによるスイレン刈取り作業及び湖底における防草シートの貼付け
 - ・第2回 10月1日～2日 2日間 地元地区との協働
ボートによるスイレン刈取り作業
- 笹ヶ峰高原におけるオオハンゴンソウの除去
 - ・8月21日
- 高山植物等の保護に向けた啓発活動の実施
 - ・盗掘防止看板の設置 6月23日から10月21日まで
- 新潟県国立公園清掃協会妙高支部による国立公園内の清掃活動
 - ・4月22日から11月29日まで

2. プロジェクトの推進

- 火打山自然再生プロジェクト
 - ・火打山ライチョウの個体群生態調査（繁殖期、非繁殖期）
期 間：5月20日から3月31日まで
 - ・火打山協働環境保全活動（イネ科植物の除去）
期 間：8月28日から31日まで
- 登山道整備に竹等の草刈り作業実施
- 高山帯における有害鳥獣の出没状況調査や捕獲活動、新規狩猟者の確保
 - ・猟友会による精力的な捕獲活動やわな等の講習会の実施。補助制度を活用した新規猟友会会員の確保
- 奥山、里山、里川の再生・保全プロジェクト
 - ・妙高山登山道除草作業におけるオオバコの除去
 - ・いもり池周辺におけるヨシの除去
 - ・ニホンジカ行動把握調査（GPS装着）
※渋江川クリーン作戦は、悪天候のため中止
- 自然体験プロジェクト
 - ・国立妙高青少年自然の家、いもり池観光案内所によるプログラムの提供
 - ・妙高戸隠連山国立公園連絡協議会におけるロングトレイルの検討
 - ・市内小学校6年生を対象とした環境教育「火打山のライチョウと地球温暖化」を開催
 - ・妙高高原体育館を拠点とした「健康保養地プログラム」の実施
※信越五岳トレイルランニングレース、妙高野尻湖 Sea to Summit は中止

3. 情報発信機能の充実

- 火打山登山道でのスマートフォンを活用した自然環境等の情報提供システム「火打山ナビ」の運用
- 生命地域妙高環境会議ホームページによる情報発信

4. 環境会議サポーター制度の運営

- 環境会議が進める生物多様性保全活動や自然体験活動等への協力
 - ・ R3.3 末現在で 293 名が登録
 - ・いもり池スイレン除去活動、ライチョウ生息環境保全活動（イネ科植物除去）、オオハンゴンソウ除去活動への参加

5. エコツアーリズムの推進

- エコツアーリズム推進に向けた取組
 - ◆いもり池観光案内所関連
 - ・いもり池ガイドウォーク（ミズバショウ解説）、きのこ観察会、スノーシュートレッキング
 - ・市内小学校当課外学習受入れ
 - ◆国立妙高少年自然の家
 - ・妙高自然体験活動指導者育成研修、親子トレラン教室、NEAL リーダー（自然体験活動指導者）養成研修
 - ※GREAT JORNEY（統合型長期移動キャンプ）は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

6. 自主財源確保に向けた取組

- クラウドファンディングの実施

【概要】

プロジェクト名：日本最北限、最小の個体群「火打山のライチョウ」を救いたい！

受付期間：10月31日から12月21日まで

寄付金総額：1,423,000円

寄付者総数：204名

寄付金使途：火打山ライチョウ個体群分布状況調査（令和3年度実施）

- 郵便振替、かざして募金等において89,898円の寄付を受付